

令和2年度 第1回柏原市総合教育会議議事録

日 時	令和2年12月23日(水) 午後3時から午後3時40分
場 所	市議会委員会室（本館3階）
出 席 者	（柏原市総合教育会議構成員） ○市長 富宅 正浩（議長） ○教育委員会教育長 新子 寿一 ○教育委員会教育長職務代理者 山崎 裕行 ○教育委員会委員 田中 保和 ○教育委員会委員 近藤 温子 ○教育委員会委員 西村 弥生子
欠 席 者	○なし
傍 聴 者	○2名
関 係 者	○副市長 松井 久尚 ○政策推進部長 市川 信行 ○政策推進部総合政策監 安田 善昭 ○健康福祉部長 石橋 敬三 ○教育部教育監 岡本 泰典 ○教育部次長兼教育総務課長 寺川 欸 ○教育部教育総務課課長補佐 栗田 聖子 ○教育部教育総務課主査 井上 敦 ○教育部文化財課長 石田 成年 ○健康福祉部こども政策課長 山本 直樹 ○健康福祉部こども育成課長 石橋 智成
事 務 局	○政策推進部次長兼企画調整課長 小林 一裕 ○政策推進部企画調整課参事 榎内 秀夫 ○政策推進部企画調整課主幹 野村 英晃
会 議 次 第	1 開会 2 市長あいさつ 3 議事 （1）ICT環境整備とICT機器を活用した授業について （2）コロナ禍における子ども達の様子について （3）新型コロナウイルス感染症対策に伴う教員の負担について （4）大阪府指定史跡清浄泉保全対策工事について （5）就学前児童の教育について （6）その他 4 閉会

議 事

<p>(事務局)</p>	<p>【1 開会】</p> <p>定刻より少し前になりますが、皆さんお揃いですので、今年度の第1回柏原市総合教育会議を開催させていただきます。</p> <p>皆様には、ご多忙の折にもかかわらず、ご出席いただきまして、誠にありがとうございます。</p> <p>私は、本日の司会を務めます柏原市政策推進部企画調整課の小林です。よろしくお願いします。</p> <p>最初に、本日の会議資料は、お手元の「大阪府指定史跡清浄泉対策工事」に係る資料1点です。お手元に資料ございますでしょうか。</p> <p>それでは、会議を進めさせていただきます。</p> <p>本日は委員の皆さま全員、ご出席いただいております。</p> <p>本会議は、柏原市総合教育会議運営要綱第3条第4項にて規定しております開催要件、「市長及び教育長等のうち1名以上の出席による」を満たしておりますので、本会議が成立しておりますことをここで報告させていただきます。</p> <p>それでは、会議の開会にあたりまして、富宅市長よりごあいさつをお願い申し上げます。</p>
<p>(富宅市長)</p>	<p>【2 市長あいさつ】</p> <p>皆さん、改めまして、こんにちは。富宅でございます。</p> <p>本日は、令和2年度第1回総合教育会議にご出席いただきまして、まずもってお礼申し上げます。本当にありがとうございます。</p> <p>また、平素は何かと柏原市の教育環境の充実のためにご尽力いただき、本当にありがとうございます。</p> <p>今年に関しましては、新型コロナウイルスの影響により、今まで普通であったことが普通ではなくなる、そういった1年になっております。そういった厳しい年となっておりますが、この年末年始にかけても、「今までにない年末年始」を迎えようとしております。</p> <p>本日の会議におきましても、コロナ禍における子ども達や教育現場への影響などの議題が大変多くなっております。そんな中でも、子ども達への影響を最小限にするため、教育委員さんや教育委員会、教職員の皆様のご尽力により、冬休みの短縮もなく、明日、2学期の終業式を迎えることができますことを、まずもって、感謝を申し上げます。</p> <p>まだまだ、先が見通せないこの厳しい状況、これを乗り越えるため、是非、一致団結して様々な施策を進めていきたいと考えております。よろしくお願い申し上げます。私のあいさつとさせていただきます。</p> <p>本日はよろしくお願いいたします。</p>

<p>(事務局)</p>	<p>【3 議事】</p> <p>ありがとうございます。それでは、早速、議事に入らせていただこうと思いますが、本日は、（市議会）委員会室を使わせていただいておりますので、1点だけ、ご案内させていただきます。</p> <p>目の前にマイクがございますけれども、発言される際に TALK ボタンを押していただきまして、発言していただきたいと思います。</p> <p>マイクが ON になりますと赤く点灯いたします。</p> <p>発言が終わりましたならば、もう一度 TALK ボタンを押していただき、マイクを OFF にしていただきますようお願いいたします。</p> <p>それでは、始めさせていただきます。</p> <p>本会議は、柏原市総合教育会議運営要綱第3条の規定により、市長が議長となります。</p> <p>ここからの会議の進行をお願いしたいと思います。</p> <p>市長よろしく願いいたします。</p>
<p>(富宅市長)</p>	<p>それでは、運営要綱に基づきまして、議長を務めさせていただきますので、どうか皆様よろしく願います。</p> <p>この総合教育会議といいますと、私と教育委員の皆様との会議の場でございますので、委員の皆様からのたくさんのご意見をお聞かせいただけたらと考えておりますので、よろしく願いいたします。</p> <p>議事に入る前に、事務局より傍聴に関する説明をお願いいたします。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>本日は、2名の方より傍聴の申出をいただいております。</p> <p>よろしく願いいたします。</p>
<p>(富宅市長)</p>	<p>傍聴につきまして、傍聴を許可してよろしいでしょうか。</p> <p>(教育委員から、「異議なし」の声が上がる)</p>
<p>(富宅市長)</p>	<p>異議なしということですので、傍聴を許可します。</p> <p>(傍聴者入場)</p>
<p>(富宅市長)</p>	<p>はい、それでは、早速、会議を進めさせていただきます。</p> <p>(新子教育長から発言を求める声あり)</p>
<p>(富宅市長)</p>	<p>どうぞ、ご発言ください。</p>

<p>(新子教育長)</p>	<p>昨年度末から新型コロナウイルス感染症により、児童生徒、教員、そして保護者の皆様におかれましては、大変な負担が生じました。</p> <p>多方面への予算配分が求められる中、小学校・中学校へのICT機器の導入や学校給食費の3か月分全額補助など、教育に対し、多くの予算を配分いただき、心より感謝申し上げます。</p> <p>大阪府では、新型コロナ警戒信号の赤が点灯しております。</p> <p>年末年始に向けてのこれからの時期、インフルエンザと新型コロナウイルス感染症の同時流行などが懸念されております。</p> <p>市長におかれましては、安心・安全に教育を受けられる柏原市として、重ねてのご協力を賜りますようお願い申し上げます。</p>
<p>(富宅市長)</p>	<p>私がかねてより、この総合教育会議での議論を通じて、委員の皆様と教育施策の方向性、これを共有させていただき、柏原市の未来を担う子ども達のために、諸問題の解決、そして、様々な施策を進めてまいりました。</p> <p>このコロナ禍において、児童生徒が、教育環境の変化を敏感に感じ取り、学校を休みがちになったりとか、落ち着いて学習できなくなることがないように、必要などころには、予算を効果的に配分していきたいと思っております。</p> <p>そしてこれまでも、そのように進めてきましたが、より進めてやって行きたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。</p>
<p>(富宅市長)</p>	<p>(1) 「ICT環境整備とICT機器を活用した授業について」</p> <p>それでは、「ICT環境整備とICT機器を活用した授業について」を議題とさせていただきます。</p> <p>こちらに関しましては、このたびの新型コロナウイルス感染症対策におけます教育の一つの手段として整備していくものですが、文部科学省からの情報がさまざまに変化した1年だったかと思えます。</p> <p>当初は、今年度中に一部の学年への導入予定であったのが、今年度中に小中学校全学年に機器導入というスピード感のある変更を伴い、そして、準備なども大変だったと思うのですが、そのあたり、ご意見がございましたらお願いいたします。</p>
<p>(山崎委員)</p>	<p>GIGAスクール構想では、児童生徒一人に一台の端末の整備をするものですが、先ほど市長がおっしゃったように、当初、小学校の5年生、6年生、中学校の1年生に端末整備を行い、令和4年度までに全児童生徒一人に一台の端末の整備を行うスケジュールでした。</p> <p>それが、令和2年4月の新型コロナウイルス感染症緊急経済対策において、児童生徒一人一台の端末整備スケジュールの加速、学校現場へのICT技術者の配置の支援、在宅・オンライン学習に必要な通信</p>

	<p>環境の整備を図ることとされました。G I G Aスクール構想におけるハード、ソフト、人材を一体とした整備を加速することが求められたわけでございます。</p>
(富宅市長)	<p>これにつきましては、全国的な整備ということで、また、スピードアップも求められたとのことで、機器の確保であったりとか、現時点でのICT環境整備について、どのようにお感じですか、ご意見がある方はいらっしゃいますでしょうか。</p>
(田中委員)	<p>ICTの環境整備につきましては、整備計画の変更に合わせて、機器導入に向けたスケジュールを組みなおし、入札、契約をすでに終えて、現在、小学校6年生、中学校3年生への機器導入、また、小学校1年生から5年生、中学校1、2年生への機器のリースを進めており、今年度中には導入するという段になっております。</p> <p>今後、災害や感染症の発生による学校の臨時休業等の緊急時において、ICTの活用により全ての子ども達の学びを保障できる環境が整ったことに安心しております。</p>
(富宅市長)	<p>ICT環境が整い、その後のことにつきましては、市議会でも様々なご意見をいただいております、これからの機器の活用、これが課題になってきております。</p> <p>今後、実際、学校現場でICTを使用した授業をはじめとして、ICTを最大限に活用していただきたいと考えておりますが、教育委員の皆様は、どのようにお考えかご意見をお伺いします。</p>
(山崎委員)	<p>小学校では令和2年度から、中学校では令和3年度から実施となる学習指導要領では、子ども達の学力向上にむけて「主体的・対話的で深い学びの実現」が求められています。</p> <p>本市でもその学びを実現するために必要な力として「書く力」や「読み取る力」を位置づけ、授業や研究を進めてこられました。</p> <p>その研究や成果に加え、今回導入される「一人一台端末」や「大型提示装置」、「オンライン教材」を活用することで、より良い「学び」へと進化させ、同じく学習指導要領で求められる「情報活用能力」の育成も図ることができると思っております。</p>
(富宅市長)	<p>ありがとうございます。他にございますか。</p>
(近藤委員)	<p>例えば、教員が授業の導入場面で大型提示装置を利用し、挿絵や写真などの資料を提示したり、電子黒板機能を使って画面に書き込んだりすることで、子ども達の興味・関心を高め、「なぜだろう？」</p>

	<p>「どういうことだろう？」という子ども達の「問い」に基づいた主体的な学びを展開することができます。</p> <p>また、子ども達一人ひとりが自分の考えを醸成する場面では、自分の端末を使って情報を検索したり、シミュレーションやデータ分析を基に、自分の考えを整理したりすることで、個々の理解や関心の程度に応じた学びを進めることができます。</p>
(富宅市長)	ありがとうございます。他にございますか。
(西村委員)	さらに、周りとの交流をとおして考えを共有したり吟味させたりする場面では、端末を用いてグループ内で複数の意見を共有し、話し合いを通じて協働で意見整理を行ったり、端末を大型提示装置にワイヤレスで投影して発表やプレゼンテーションを進めたりすることで、思考力・判断力・表現力、そして情報活用能力をお互いに高めあいながら育成することができます。
(富宅市長)	ありがとうございます。他にございますか。
(田中委員)	<p>学習のまとめや補充学習の場面では、オンライン教材を活用することで、教員が個々の定着状況を効率的に把握することができ、きめ細やかな指導や支援を行ったり、学習履歴をもとに子ども達の「自ら学ぶ力」の育成につなげたりすることができます。</p> <p>また、家庭からもインターネットを使って利用することができますので、学校での学びを途切れなく家庭でも継続させることができております。</p>
(富宅市長)	ありがとうございます。他にございますか。
(新子教育長)	まとめますと、教員は授業の「教具」の一つとして、子ども達は学びの「文房具」の一つとしてICTを活用しながら、これまで進めてきた教育実践を発展させることで、学習活動の一層の充実を図り、柏原市の全ての子ども達の確かな学力を育んでいくということを目指しております。
(富宅市長)	<p>様々のご意見をいただき、ありがとうございます。</p> <p>是非とも、子ども達の学びが途切れないう、よろしくお願ひしたいと思ひます。</p>

<p>(富宅市長)</p>	<p>(2) コロナ禍における子ども達の様子について</p> <p>では、次に議題2の「コロナ禍における子ども達の様子について」に移らせていただきます。</p> <p>今年度は小中学校の学校休業があったり、短縮の授業や、夏休みの期間に授業があったり、子ども達の心身にも負担があったのではないかと、私としては気にかけております。教育委員の皆様は、より一層、気にされていたと思いますが、そのあたりご意見があったらお伺いします。</p>
<p>(山崎委員)</p>	<p>我々、教育委員もこのような状況の中、これまでのように何かにつけ学校を訪問するといったようなことができずにおり、歯がゆい思いをしておりますが、事務局に報告を求めるなど、学校の様子に気を配ってまいりました。</p> <p>令和2年3月2日より、政府からの要請を受け、柏原市内小中学校園においても、臨時休業が実施されました。3か月間に及ぶ臨時休業は、子ども達にとって初めてのことであり、未知のウィルスへの対応と先が見えないことへの不安は、計り知れないことだと考えています。</p> <p>学校においては、子ども達の安全と安心のために、教職員による、電話連絡、手紙や課題の配付、家庭訪問及びメールやホームページ等とおして、子ども達との繋がりを大切にされてきました。</p>
<p>(富宅市長)</p>	<p>ありがとうございます。他にございますか。</p>
<p>(田中委員)</p>	<p>令和2年6月1日からは、分散登校及び短縮授業対応から学校が再開いたしました。再開にあたり校長会と十分に協議を重ね、学習の遅れを取り戻すべく、教育課程の再編成及び行事等の精選、「感染源・感染経路を経つ」観点からの「新しい生活様式」の指導、そして、感染による差別を起させない人権学習と教育相談体制の確立を大切に「重点課題」として取り組んでこられました。</p>
<p>(富宅市長)</p>	<p>ありがとうございます。他にございますか。</p>
<p>(西村委員)</p>	<p>このような中、子ども達は、夏休みの短縮にも関わらず、学校での集団生活と仲間との学びを、充実したものと捉えてくれているようです。</p> <p>笑顔で登園校する子ども達の姿が戻ってきております。毎朝の検温、マスクの着用、手洗いと消毒等、新しい生活様式も、一定身に付けていると説明を受けました。</p> <p>幼稚園児や小学校低学年児童においては、教職員がこの感染症への対応について、丁寧に指導することで、それぞれの発達段階に応じた</p>

	<p>理解をしているとのこととです。</p> <p>小学校高学年児童や中学校生徒では、自分だけでなく、周りの大切な人達を守ることへの工夫について、自ら学び、仲間と共に実践しようとする自立した姿が見られ、前向きに頑張っている子ども達の姿に、教員もまた励まされているとお伺いしております。</p>
(新子教育長)	<p>ありがとうございます。他にございますか。</p>
(近藤委員)	<p>新型コロナウイルス感染症への不安を理由として不登校になっている子どもはいないと聞いております。</p> <p>このコロナ禍においては、学校生活における制限や我慢をずいぶん強いられております。しかし、子ども達は実に逞しく、今だからできることを選択し、今大切にすべきことを学んでおります。</p> <p>臨時休業による学習の遅れが心配されましたが、年間で定められている標準時数は計画通り進行されており、現在のところ、土曜授業や冬休みの短縮をせずに済む見込みであるということです。</p> <p>今後も、引き続き、子ども達の健康と心の安定を第一に、教育委員会と学校が一丸となり、取組みを進めてまいります。</p>
(富宅市長)	<p>ありがとうございます。</p> <p>学校現場で様々なきめ細かい取組みをされておられ、子ども達も落ち着いた様子で学校生活を送れていることに安心いたしました。</p> <p>今後とも、子ども達が生き生きと学校生活が送れるように、現場の先生方をはじめ、教育委員会の皆様には、きめ細かな子ども達のケアを是非、よろしく願いいたしたいと思っております。</p> <p>今、子ども会の方で絵画展をこの市役所の2階に一部の作品を飾っていただいておりますが、非常に逞しい、素晴らしい作品だと思っております。是非、皆さんもお帰りに見ていただけたらと思っております。</p> <p>それでは続きまして、議題3に移ります。</p>
(富宅市長)	<p>(3) 新型コロナウイルス感染症対策に伴う教員の負担について</p> <p>「新型コロナウイルス感染症対策に伴う教員の負担について」でございます。どうしても、新型コロナウイルスに関連した議題ばかりになってしまいますが、ご了承ください。</p> <p>昨年度の総合教育会議におきましても、「教員の働き方改革について」を議題の一つといたしました。柏原市のみならず、全国的に教員の欠員が深刻な問題となっていることをお伺いいたしました。</p> <p>このたびの新型コロナウイルス感染症対策においては、教員の方々に通常業務以外に様々な緊張感、これを強いるご負担をお掛けしているのではないかとと思っておりますが、教育委員会で把握しておられる教員の</p>

<p>(新子教育長)</p>	<p>負担に関して、お伺いしたいと思います。</p> <p>子ども達の安全を守りながら、学校生活を再開するにあたり、学校では最新の情報を取り入れながら感染症対策に努めつつも、可能な限り学習活動ができるよう努めております。</p> <p>飛沫による感染リスクが最も高いことから日常生活において、マスクを着用したり、同じ方向を向いて黙って給食を食べたり、こまめな手洗い、手指消毒等、子ども達が新しい生活様式を身に着けるよう、教員は日々、細やかな指導を積み重ねてまいりました。</p>
<p>(富宅市長)</p>	<p>ありがとうございます。他にございますか。</p>
<p>(近藤委員)</p>	<p>感染予防のために、大勢が共通して触れる箇所、例えば、水道の蛇口や階段の手すりなどは、こまめな消毒作業が必要です。また、トイレでの感染リスクも高いことから、大阪府のガイドラインに従い、トイレ掃除は子ども達にさせず、消毒やトイレ掃除は教員が通常業務に加え、行っていると伺っております。</p>
<p>(富宅市長)</p>	<p>他にございますか。</p>
<p>(西村委員)</p>	<p>教員には、毎日の検温や、給食の配膳、教育課程や行事を行う中での感染対策等、通常業務に加えて負担がかかっておりますが、教育の質が低下することがないように、各校で努めていただくよう、お願いしております。</p> <p>教育委員会といたしましては、各校にスクールサポートスタッフを配置するなど、教員の負担を軽減する施策を行っておられるとお聞きしました。</p>
<p>(富宅市長)</p>	<p>今、教員の現場の状況をお伺いしまして、想像以上に子ども達のために新型コロナウイルス対策に関して万全の体制でご尽力をいただいているということで、本当に感謝しかありません。</p> <p>これまでも、柏原市教育委員会では、現場との意思疎通を図っていただいていると思いますが、これまで以上に、担当課でヒアリングを行うなどしていただいて、教員の方々の不安を払拭し、改善に努めていただきたいと思いますのでよろしく願いいたします。</p> <p>それでは、議題4に移りたいと思います。</p>

<p>(富宅市長)</p>	<p>(4) 大阪府指定史跡清浄泉保全対策工事について 「大阪府指定史跡清浄泉保全対策工事について」でございます。 まず、この件につきまして、現状を教えてくださいませんか。</p>
<p>(新子教育長)</p>	<p>大阪府指定の史跡である清浄泉につきまして、文化財課より昨年、一昨年と落石や落木があったと報告を受けております。 この史跡は、弘法大師の湧き水ということで、地元からも愛されており、湧き水が止まってしまうのではないかと気にかけておられ、防災対策が難しい状況にありました。近年の大雨や防風の影響により、地元が災害についても目を向け、人命を最優先にしたうえで、史跡、湧き水も守ってほしいとお考えをお持ちになられたということですので。 そうしましたことから、この度地元から要望書が提出されました。 市長におかれましても、常々防災のためにご尽力されておられますが、こうして地元の気運が高まってきておりますことから、何卒、お力添えをいただければと考えております。</p>
<p>(富宅市長)</p>	<p>ありがとうございます。 文化財を保護するということや歴史遺産を活用して、地域の歴史を知るということは非常に大切なことであるということは私も理解しております。そういった意味におきましても、今年度日本遺産といたしまして「龍田古道」「葛城修験」の二つが認定されたことは、非常に大きな成果だとも感じております。 しかしながら、文化財保護、これを重要視するあまりに、市民の命や財産に大きな被害があってはいけないことは言うまでもないことでありまして、防災対策と文化財保護、これの両立といった難しい課題ではあります。教育委員会には関係各所と連携をとっていただき、最善の方策を考えていただければと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。</p>
<p>(富宅市長)</p>	<p>(5) 就学前児童の教育について それでは、次に議題5「就学前児童の教育について」です。 柏原市では、幼稚園の入園申込みの数の減少や園舎の耐震診断の結果等から、幼稚園の休園や休級があり、来年度からの新たな4つの認定こども園のスタートに向けて、準備をすすめているところでございます。 これまでの幼稚園と保育所といった形から認定こども園という新しい形で就学前児童を受け入れるわけでございます。 教育委員さんにおかれましては、今年度の教育委員会議におきまして、何度もこの件につき、報告を受けたり、審議していただいている</p>

<p>(新子教育長)</p>	<p>ところでございますが、本日は、この議題における各委員の皆様の今後の柏原市の就学前児童に対する教育に関して、ご意見をちょうだいできたらと思います。</p> <p>よろしく願いいたします。</p> <p>まず、自分の意見をお話しさせていただく前に、今、市長の方からもお話がありましたように、幼稚園に関しましてはここ数年、非常に申込希望者が少ない。一桁になっておるという年もございました。</p> <p>本来ならば、休級、休園しなければならぬところでございますけれども、関係各位、こども政策課、こども育成課、そして、市長のお力添えを得て、ここまで園を存続させていただいたことにつきましては、教育委員会といたしましては、寂しい思いもございますが、感謝申し上げたいと思います。</p> <p>それでは、議題に上がっております、就学前児童、あるいは幼児の「就学前教育」についてでございますが、私自身は、「就学前教育」というのは、今人生100年といわれておりますけれども、人間形成をする中では最も大切に重要な時期であると、そのように感じております。</p> <p>小中高では「見える学力」、計算力であったり、読む力、書く力、あるいは応用力であったり、「認知能力」と言われます。数字で出てきますね。テストの点や評価や、これは「見える学力」「認知能力」です。</p> <p>しかし、就学前教育というものは、「見えない教育」、今言われている「非認知能力」。子どもたちが園で自由遊びをする、あるいは、運動会の練習や発表会や読み聞かせや、そういった中で、興味・関心を持つ、「やってみたいな」という気持ち、「やり方がわからない。先生教えて」そういった子どもたちの「心の動き」、「やる気」、「そういったものが育つ場である」と。「見える学力」小中高への本当に下支えになるというのが、「就学前教育」だと思います。幼稚園、保育所も関係なく、教えられるものでなくて、自分達が経験して、感じ取って繋げていく、「教えて」「やってよ」「あ、できた」、自己有能力、自尊感情がついたり、「もうちょっと頑張ってみようかな」、積極性が出たり、「もっと上手になりたい」「頑張ろう」、忍耐力がついたり、そういったことを知らずに身につける。これがなかったら、小学校に上がっていても、同じように今やっているような小学校の進め方ができない。これは、教えられるものではなくて、自分たちが経験して得るものです。</p> <p>今、認定こども園に代わっていっているところが多いです。</p> <p>「幼稚園型」「保育所型」、柏原市は「幼保連携一体」。どちらの良さもこれからは活かせる。そういったところで、今、「非認知能力」というのは、世界のあらゆるところで、しっかりと見ていかなければならないといわれております。</p> <p>「日本の幼稚園や保育所のあり方」というものが、視察も多く、注目</p>
----------------	---

	<p>されています。どこの国もそのようになるらしいです。「あずけるだけ」あるいは「来てもらって見てもらう」、このような非常にお金がかかるようなシステムを行っている国も多いようですけども、「集団で、子どもたちが自由に発想して」といったことを考えますと、本当に「就学前教育」「幼児の大切さ」というところでは、今後、柏原市の認定こども園で、しっかりと鍛えていただく、そして小学校へ繋いでいただく、幼小中一貫教育をやっておりますけれど、今後は、認定こども園にしっかりと繋いでいくということで、しっかりと教育委員会も連携を図りながら進めてまいりたいと、このように思っております。</p>
(富宅市長)	<p>ありがとうございました。他にございますか。</p>
(山崎委員)	<p>私も重複するところもあるかと思いますが、意見をお話しし、お礼を申し上げたいと思います。</p> <p>就学前の教育、特に幼稚園につきましては学校教育の始まりです。幼稚園は、幼児がこれからの人生を生きていく上での基礎を育てる場です。</p> <p>幼稚園では、自発的で伸び伸びとした遊びが、とても重要な学習で、その活動を先生は側面から支援します。</p> <p>体を動かす気持ちよさを味あわせ、意欲を育てます。歌を歌ったり、簡単な楽器遊びを楽しみます。絵本や物語に親しみ、先生の読み聞かせを味わいます。言葉や数への関心を高め、自立心を育み、豊かな感性を育てます。集団の活動の中での道徳性や規範意識の芽生えを大切にします。</p> <p>これらをきちんとしたカリキュラムにして日々の教育を実施し、幼児を育て小学校以降の教育へと繋いでいくのが幼稚園だと思っています。</p> <p>ところが、最近、先ほどからもお話で出ておりましたが、少子化や共働き家庭の増加により、保育所や私立幼稚園を希望する保護者が増えていくとのことで、驚くほど急激に、公立幼稚園の希望者が減ってきました。</p> <p>教育委員会では、規則や運営方針などに基づいて、幼稚園の休級や廃園を決めざるを得ませんでした。この知らせを聞いた子ども達や保護者は、どんなに不安な気持ちになったか想像に難くありません。</p> <p>しかし、柏原市では、公立幼稚園と公立保育所の統合による認定こども園が4園、令和3年度より開園する計画になりました。保護者の皆さんの安心や喜びを思うと、こんなに嬉しいことはありません。</p> <p>教育長をはじめ、教育委員会事務局の皆さん、計画を進めて下さった健康福祉部の部長をはじめ、こども政策課やこども育成課の皆さん、そして、決定のゴーサインを出して下さい下さった市長さんに心からお礼を</p>

<p>(田中委員)</p>	<p>申し上げます。</p> <p>柏原市の就学前の子ども達が、保育所と幼稚園が統合された認定こども園ですくすくと成長・発達し、小学校以降の教育に繋がる立派な子ども達に育っていくことを確信しています。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>私もほぼ同じような意見になるかと思いますが、その思いを伝えたいと思います。</p> <p>柏原市立の各幼稚園の入園希望者が激減の中、認定こども園の設置につきまして、動向を敏感に察知し、当初の予定より計画を前倒しされ、時宜を得た結果となったことについて、市長さんをはじめ市議会や市長各部局のご理解とご支援があったことに感謝申し上げます。</p> <p>令和3年度から開設のかしわらこども園につきましては、多くの予算をつぎ込んで、新しく綺麗で立派な園舎を建てていただき、柏原市の誇れる施設にしたいと考えております。</p> <p>また、現在の計画で存続予定の幼稚園・保育所につきましても、今後とも、保護者の意見を十分にくみ取り、より良い教育・保育が保証されますよう、教育委員会・こども政策課・こども育成課協働で努力していくことが重要と考えております。</p> <p>保育・教育施設として、公立も私立も、それぞれが創意工夫して、魅力を市民にアピールしていただければと考えております。</p> <p>「住みよい町、柏原」に向けて、認定こども園と存続の幼稚園・保育所をさらに充実し、「待機児童の無い柏原」、「子どもを産んで育てやすい柏原」を目指し、幼小中一貫教育の良さをさらに推進し、「住みよい町、柏原」としての存在感を示すことで、市の人口増加や発展に繋げることができればと考えております。</p>
<p>(富宅市長)</p>	<p>ありがとうございました。他にございますか。</p>
<p>(近藤委員)</p>	<p>学校とは違い、就学前では送り迎えが必要なことから、行事等も含めて家族どうしで会える機会が多くあります。</p> <p>その中で、子どもは、兄弟の存在や多様な家族のかたちを自然と学んでいっています。</p> <p>また、顔見知りができることで、将来に渡って、地域で見守ってくれる人が増えることにも繋がっています。</p> <p>親にとっても、毎日、先生と話す機会があることや助け合える友人ができることで、孤立しがちな子育ても楽にしてくれます。</p> <p>こども園ができることへの子育て世代の期待は大きいです。</p> <p>かしわらこども園以外は、今ある建物を使うことになりますが、設備等の面でも期待に応えられるよう、願っています。</p>

(富宅市長)	ありがとうございました。他にございますか。
(西村委員)	<p>私も感謝を申し上げますとともに、私の意見を述べさせていただきます。</p> <p>来春、柏原市立幼保連携型認定こども園が開園します。かつて、幼稚園と保育所は各々が持っている社会機能が異なるという考えのもとに二元化していたものを、幼児教育と保育を兼ね備えて乳幼児期、児童期全体を視野に入れた一元化施設とする、ということです。</p> <p>「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」の趣旨、ここにも書いてありますが、「誰もが健やかに育成される環境を提供し、保護者に対する総合的な子育ての支援を推進するため、地域における乳幼児期の教育及び保育の中心的な役割を果たすように努めること」、まさにこのことが重要なことだと思います。</p> <p>すなわち、幼保連携により、さらに適切な環境整備が可能となり、幼児教育・保育の実践と研究、小学校との接続機能の向上が期待されるとともに、子育て支援機能として地域や諸機関との連携及びコーディネート、様々な支援を要する子どものセーフティネットの機能も十分に発揮していくべきであると考えております。</p>
(富宅市長)	<p>ありがとうございます。教育委員の皆様から「就学前児童の教育」に関して、たくさんのご意見をお聞かせいただき、いろいろと気にかけていただいていることに、まずもって感謝申し上げます。先にも申し上げましたが、この総合教育会議の場で皆さんとこのようにご議論をさせていただいたことを基に、私の思いといたしまして、「柏原市の未来を担う子ども達のために、また、子育てをしやすい環境を整えるため」に、諸課題の解決、様々な施策を進めてまいりましたが、間違っていなかったことを再確認することができました。</p> <p>本日の委員の皆様からのご意見を踏まえ、より良い教育・保育が保証されるよう、教育委員会と市長部局が手を携えて取組んでいくことが重要と考えておりますので、引き続き、よろしく願いいたします。</p>
(富宅市長)	<p>(6) その他</p> <p>それでは、議事の(6)「その他」についてですが、皆さま、何か案件等はございますでしょうか。</p> <p>★教育委員からは なし</p>
(富宅市長)	<p>特に無いようでございます。</p> <p>最後に、事務局からは何かありますでしょうか。</p>

<p>(事務局)</p>	<p>【その他・会議日程について】 今後の日程でございます。 前回の会議でご承認いただきましたとおり、今年度の定例会は、今回が最終となります。 今後につきましては、ご審議いただく案件が生じた際に、改めて開催の日程調整をさせていただきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。</p>
<p>(富宅市長)</p>	<p>特に、ご意見がなければ、今後、会議の開催が必要となった際に、事務局の方で改めて日程の調整をさせていただきますので、よろしくお願い致します。</p>
<p>(富宅市長)</p>	<p>【4 閉会】 それでは、本日の議事は、以上をもって終了いたしました。 これにて閉会とさせていただきます。 年末のお忙しい中、お集まりいただき、本当にありがとうございました。</p>